

**九州大学サステナブル水素研究所**  
**水素製造研究部門・教授の公募について**

九州大学サステナブル水素研究所は、これまで九州大学が蓄積してきた世界的な水素研究拠点としての豊富な実績、設備及び人材を統合し、水素の製造、輸送・貯蔵、利用に関する基礎研究から社会実装をシームレスに推進する研究拠点の構築を目的として、令和8年4月1日に設置された新たな研究所です。

このたび、下記のとおり本研究所の教授を国際公募します。世界各国から優れた候補者の応募を歓迎します。

なお、本研究所の詳細については、ホームページ <https://sustainable.hydrogenius.kyushu-u.ac.jp> をご参照ください。

記

**1. 募集人員:** 教授 1名(任期なし)

**2. 所 属:** サステナブル水素研究所 水素製造研究部門

**3. 職 務:**

- (1) サステナブル水素研究所 水素製造研究部門において、当該専門分野に関する研究を推進すること。
- (2) 産学官連携、国際連携及び外部資金の獲得等を通じて、研究成果の社会実装及び研究所の発展に貢献すること。
- (3) 関連する教育組織における研究指導を行うとともに、研究所運営に貢献すること。
- (4) 大学院・学部における講義、実験、演習及び試験を担当するとともに、学生の教育研究指導を行うこと。

**4. 専門分野:**革新的グリーン水素製造材料および水素製造のためのデバイス・プロセス開発

光触媒、光電気化学変換(PEC)や電解などにおける材料合成、特性評価、デバイス作製、試験、モデリングおよびシステム統合などの領域。具体的には、水素製造のための触媒／光触媒、電極開発、界面科学、光機能性電極、新規機能性有機色素の合成、ならびに再生可能エネルギーからのエネルギー発生・貯蔵に向けた高効率太陽電池または革新的電池用材料などを対象としています。また、これらの分野におけるAIを活用したマテリアルズインフォマティクスも含みます。

## 5. 応募条件： 次の各号の条件をいずれも満たす者

- (1) 博士またはPh.D.の学位を有する者、またはそれと同等以上の能力を有すると認められる者。
- (2) グリーン水素製造の研究経験を有すること。具体的にはグリーン水素製造に向けた有機・無機触媒の開発、高効率電解セル、高効率太陽電池、またはエネルギー貯蔵材料、表面科学などいずれかの分野に関する知識と経験を有すること。AIを活用したマテリアルズインフォマティクスによる上記の分野の材料開発の研究も含む。
- (3) 水素製造関係の研究成果の社会実装に関する経験、あるいは強い関心と意欲を有すること。
- (4) 競争的資金や企業との共同研究等の獲得実績を有すること。
- (5) 企業、地方自治体・政府、研究機関、国際機関との連携に対する意欲を有すること。

## 6. 求める人材像

- (1) グリーン水素製造の材料研究またはこれらを対象とする機能性材料に関して、国際的な業績を有する者
- (2) 水素製造の材料およびプロセス研究の知見に立脚した機械学習・マテリアルズインフォマティクスなども利用する材料開発に関し、知見または経験を有する者
- (3) グリーン水素製造に関する研究教育成果の社会実装や社会的課題の解決に取り組んだ実績を有するか、あるいはこれらのことに強い関心と意欲を有する者
- (4) 大型予算または企業との共同研究費等の外部資金の獲得実績を有する者
- (5) 水素エネルギーシステム関連研究者・技術者、材料研究者、企業・自治体・研究機関・国際機関・政府等との連携に意欲を有する者

なお、選考にあたっては、以下の事項を重視して評価する。

### (i) 研究の卓越性と国際的評価

本公募で示した専門分野において、インパクトの高い学術論文、明確な科学的貢献、及び国際的認知度を有すること。

### (ii) 外部資金獲得の可能性と研究プログラムの展開力

競争的研究資金(国内外)や産学連携資金の獲得実績又はその高い可能性を有し、本公募で示した専門分野において持続的かつ発展性のある研究プログラムを構想・推進できること。

### (iii) 本研究所への技術的適合性と貢献

グリーン水素製造プロセスおよび関連分野で専門知識を有し、材料評価、材料設計、表面分析、有機合成、エネルギー貯蔵・変換、社会実装に至るまで、工学、化学、材料科学等の関連分野を横断した連携研究を推進できること。

### (iv) 教育、若手育成、組織運営への貢献

関連分野の大学院または学部の教育と学生の研究指導に意欲を有し、若手研究者の育成、研究所運営、部門横断連携、並びに大学全体の教育研究活動に意欲的に貢献できること。

7. 着任日：採用決定後できるだけ早い時期

8. 職業安定法に基づく明示事項

- (1) 任期：なし(定年による退職は、65歳以後における最初の3月31日)
- (2) 試用期間：試用期間あり(3か月)ただし、国、地方自治体又はこれに準ずる関係機関の職員から引き続き本学の職員となった者については、この期間を短縮し、又は設けないことがあります。(本学就業通則第6条第1項)
- (3) 就業場所：九州大学伊都キャンパス(福岡県福岡市西区元岡744)
- (4) 就業時間、休憩時間、時間外労働：採用者の同意に基づき専門業務型裁量労働制が適用され、7時間45分働いたものとみなされます。1日の勤務時間が6時間を超える場合は45分以上、7時間45分を超える場合は1時間以上の休憩時間を勤務時間の途中に置くものとします。休日出勤が生じる場合があります。
- (5) 休日：原則、土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
- (6) 賃金：年俸制(令和2年4月1日導入の年俸制)が適用されます。なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規定により決定します。
- (7) 加入保険：雇用保険、労災保険、文部科学省共済組合(健康保険、厚生年金)に加入
- (8) 募集者の氏名又は名称：国立大学法人九州大学 サステナブル水素研究所
- (9) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内全面禁煙

9. 提出書類(提出書類はすべて英語で作成し、電子媒体で提出ください。)

- (1) 本学所定の履歴書(写真貼付)
- (2) 研究業績書：(a) 原著論文、(b) 総説・解説、(c) 著書、(d) 国際会議プロシーディング、(e) 招待・依頼講演、(f) その他の業績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください。なお、応募者が筆頭著者あるいは責任著者である論文は、識別できるように\*(アスタリスク)を付けてください。
- (3) 教育、組織運営等に関する業績書：(a) 大学における講義・演習等の教育実績、(b) 組織運営に関する業務実績、(c) アウトリーチ活動実績、(d) 国内・国際連携活動実績、(e) 国際機関における活動実績、(f) その他の実績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください(A4判用紙2ページ以内)。
- (4) 研究業績のうち、主要なものを最大5件選定し、PDFファイルを添付ください。
- (5) 応募の動機及び業務に関する抱負(A4判用紙2ページ以内)。特に、安価なグリーン水素製造法の開発に向けての将来展望と貢献に関する抱負を重点的に記載ください。
- (6) これまでの研究教育活動の概要(A4判用紙2ページ以内。必要に応じて図表等を挿入して構いません。)
- (7) 外部資金獲得実績(代表・分担の別を明記ください。ただし、過去5年以内のものに限ります。)
- (8) 応募者について照会可能な2名の氏名及び連絡先(氏名、所属、職、メールアドレス、電話番号)

号を記述したもの)

**10. 応募期限:** 令和8年8月31日(月)日本時間24:00(必着)

**11. 選考方法:** 一次選考(書類審査)及び二次選考(面接審査)を実施

※面接の際の旅費等は自己負担とします。

※面接は原則として対面で実施しますが、事情に応じてオンラインで実施する場合があります。

※面接審査時に模擬講義を行ってもらうことがあります。

**12. 書類提出先:**

提出先: s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学I<sup>2</sup>CNER・Q-PIT共通事務支援室総務・人事グループ

※メールの件名に「教員(水素製造研究部門)の応募」と記載ください。

※提出書類はPDFファイルにて作成し、添付してください。(1)～(8)の提出書類は、それぞれ一つのファイルとし、ファイル名に1～8の番号を記載ください。

※ファイルサイズの合計が5MBを超える場合は、事前にメールにてお知らせください。

提出用のURLをお送りします。

※応募を受け付けた場合、必ずメールにて返信を行います。提出後、3営業日以内に返信がない場合は、お問い合わせください。

**13. 問合せ先**

九州大学I<sup>2</sup>CNER・Q-PIT共通事務支援室総務・人事グループ 武安、西国領

TEL: 092-802-6932、2606

E-mail: s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

**14. その他:**

- ・九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り、教員選考を行います。

九州大学男女共同参画推進室の詳細はこちら<http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>

- ・九州大学では、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- ・九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- ・過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載

があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

- ・ 提出書類は選考以外の目的には使用しません。

# **Faculty Member Recruitment for Professor at the Hydrogen Production Research Division of the Hydrogen Institute for Sustainability, Kyushu University**

Kyushu University established the new Hydrogen Institute for Sustainability on April 1, 2026, with the goal of integrating the university's extensive achievements, facilities, and human resources into a world-class hydrogen research hub, constructing a research institute that seamlessly promotes both basic research and social implementation related to hydrogen production, delivery, storage, and utilization.

A full-time Professor is being recruited, and outstanding candidates from around the world are encouraged to apply, as outlined below.

For more details about this institute, please refer to <https://sustainable.hydrogenius.kyushu-u.ac.jp>

## **1. Number of Positions:**

One (1) Professor (tenured)

## **2. Affiliation:**

Hydrogen Production Research Division, Hydrogen Institute for Sustainability

## **3. Job Details:**

- (1) Research in the relevant specialized fields (see item 4 below) within the Hydrogen Production Research Division of the Hydrogen Institute for Sustainability.
- (2) Contributing to the social implementation of research outcomes and the development of the institute through industry-academia-government collaboration, international collaboration, and acquisition of external funding.
- (3) Providing research supervision in relevant educational programs and contributing to the operation of the institute.
- (4) Teaching (including lecturing, experimental laboratory work, exercises, and examinations) and supervising students in graduate and undergraduate courses as well as research.

## **4. Specialized Fields:**

Materials and processes for the production of green hydrogen using renewable energy, including photocatalyst, photoelectrochemical conversion (PEC) and electrolysis. Areas of interest include materials synthesis, characterization, device fabrication, testing, modeling, and systems integration. Additional specialized topics include catalysts/photocatalysts as well as electrode

development, interfacial systems, photo-functional electrodes, synthesis new functional organic dyes, and materials for efficient solar cells and/or advanced batteries for energy storage from renewables. The field of AI-driven materials informatics is also of interest.

**5. Qualifications:**

- (1) Ph.D. degree or equivalent
- (2) Research experience in green hydrogen production, with emphasis on electrocatalysis and materials synthesis as well as device fabrication, testing, modeling, and systems integration. Specifically, knowledge and experience in electrocatalysis, materials development for electrolysis and PEC, the development of organic and inorganic catalysts for green hydrogen production, as well as in high-efficiency electrolytic cells, high-efficiency solar cells, energy storage materials, and surface science. Materials development and use of AI-driven materials informatics are also interest.
- (3) Experience or a strong interest and motivation for social implementation (i.e., industrial use) of research outcomes from hydrogen production research.
- (4) Achievements in obtaining external funding such as competitive grants or joint research with companies.
- (5) Eagerness to collaborate with companies, local and national governments, research institutions, international organizations.

**6. Desired Profile of Candidates:**

- (1) Internationally recognized achievements in materials development for green hydrogen production with highly efficient photocatalyst and electrolyzer including new functional organic dye synthesis,
- (2) Knowledge and experience in the development of materials or processes for production of green hydrogen based on machine learning and materials informatics.
- (3) Experience in, and/or a strong interest and motivation in, social implementation (i.e., real world implementation) of research outcomes from green hydrogen production and tackling societal issues regarding such implementation.
- (4) A record of achievement in securing external funding, such as competitive grants and joint research with companies, including success in developing proposals and working effectively within teams.
- (5) Motivation in collaborating with researchers, engineers, and other stakeholders related to green hydrogen production materials and systems, including with companies, local governments, research institutions, international organizations, and government agencies.

In evaluating candidates, the following criteria will be used:

(i) Excellence in research and international reputation

The applicant must have a track record of high-impact academic publications, clear scientific contributions, and international recognition in the specialized field in this call for applications.

(ii) Potential for securing external funding and ability to develop research programs

The applicant must have a record or strong potential for securing competitive research grants (domestic and international) and industry-academia collaboration funds and must be capable of conceiving and advancing a sustainable and scalable research program in the specialized field in this call for applications.

(iii) Technical compatibility with and contribution to the institute

The applicant must possess expertise in green hydrogen production related materials and processes and be capable of promoting interdisciplinary collaborative research spanning related fields such as engineering, chemistry, and materials science. This includes materials design, synthesis, characterization, modeling and simulation, as well as integration and optimization. Use of innovative approaches such as AI-driven informatics, machine learning, etc., as well as alignment with the university's goals for societal implementation, are of value.

(iv) Contribution to education, young researcher development, and organizational management

The applicant must have a genuine interest in the university's mission of education and the skills necessary for effective organizational management and development of students and early-career researchers.

**7. Date of Appointment:**

As soon as possible after the recruitment decision

**8. Working Conditions Specified under the Employment Security Act**

**(1) Term:** None (retirement occurs on the first March 31 following the attainment of age 65).

**(2) Probationary Period:** A three-month probationary period applies; this probationary period may be shortened or omitted for a person who has worked as an employee of the national government, local government or any related body equivalent thereto and then has been employed as an employee of the university directly after leaving the previous job. (Kyushu University General Regulations of Employment, Article 6, Paragraph 1)

**(3) Place of Work:** Kyushu University Ito Campus (744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka City, 819-0395, Japan)

**(4) Working Hours, Break Period and Overtime Work:** With the employee's consent, the discretionary labor system for professional work will apply, and the employee will be deemed to have worked 7 hours and 45 minutes per day. If daily working hours exceed six hours, a



break of at least 45 minutes must be provided; if they exceed 7 hours and 45 minutes, a break of at least one hour must be provided during working hours. There may be occasions when you are required to work on holidays.

- (5) Holidays:** In principle, Saturdays, Sundays, national holidays, and the year-end/New Year holidays (December 29 to January 3).
- (6) Salary:** An annual salary system (introduced on April 1, 2020) will be applied. The amount of annual salary will be determined in accordance with the university's relevant regulations, based on your experience and qualifications.
- (7) Insurance:** Enrollment in employment insurance, workers' accident compensation insurance, and the Mutual Aid Association of the MEXT (health insurance and employee pension insurance).
- (8) Name of Recruiting Entity:** National University Corporation Kyushu University, Hydrogen Institute for Sustainability
- (9) Status of Measures to prevent passive smoking:** All campus premises are entirely non-smoking.

**9. Required Documentation (All documents must be written in English and submitted electronically.)**

- (1) Curriculum Vitae in the format prescribed by Kyushu University (including a photograph)**
- (2) Research Achievements:** Categorize items into (a) Original research articles, (b) Review/Commentary articles, (c) Books, (d) Proceedings of international conferences, (e) Invited talks, and (f) Other achievements, and list them in reverse chronological order (from newest to oldest). Mark with an asterisk (\*) for the papers/books for which the applicant is the first author or corresponding author so that they can be identified.
- (3) Achievements in Education and Organizational Management:** Categorize items into (a) Teaching experience (lectures, seminars, etc.) at universities, (b) Administrative and organizational responsibilities, (c) Outreach activities, (d) Domestic and international collaborative activities, (e) Activities in international organizations, and (f) Other achievements, and list them in reverse chronological order (from newest to oldest) (no more than two A4 pages).
- (4) Select up to five major publications and submit each of them as a PDF file.**
- (5) Statement of Motivation and Future Plans** (no more than two A4 pages).  
Especially describe your aspirations for promoting research on the development of cost-effective methods for producing green hydrogen.
- (6) Brief summary of previous research and educational activities** (no more than two A4

pages, including figures and tables if necessary).

**(7) Record of external funding** (within the past five years), with an indication of whether you served as principal investigator or co-investigator, and whether you have contributed to writing grant proposals either for government or industry programs.

**(8) Contact information of two references** (name, affiliation, position, email address, and phone number).

**10. Application Deadline:**

August 31, 2026 (Monday), 24:00 Japan Standard Time (JST)

**11. Evaluation Process:**

Document Review (first screening) followed by Interview (second screening)

\* Candidates must pay their own transportation and expenses for the interview.

\* The interview will, in principle, be conducted in person; however, depending on circumstances, it may be conducted online.

\* Interviews may include a short mock lecture.

**12. Application Document Submission:**

Submit by e-mail

s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

(I<sup>2</sup>CNER · Q-PIT Common Administrative Support Office, General Affairs and Human Resources Group, Kyushu University)

\* Please send an email to the address above with the subject line: "Application for Faculty (Professor, Hydrogen production research division)."

\* Documents should be PDF files and attached to the email. Each of the documents (1)–(8) should be a separate file with the number 1-8 in the file name.

\* If the total file size exceeds 5 MB, please notify us by email in advance. A submission URL will be provided.

\* If you have not received a reply after three working days, please contact us.

**13. Contact:**

Akinori Takeyasu, Yutaka Nishikokuryo

I<sup>2</sup>CNER · Q-PIT Common Administrative Support Office, General Affairs and Human Resources Group, Kyushu University

TEL: 092-802-6932, Ext: 2606

E-mail: s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

**14. Additional Information:**

- Kyushu University is an equal opportunity employer and follows the principles of the Basic Act for Gender Equal Society (Act No. 78 of 1999) (Office for the Promotion of Gender Equality <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/en/>)
- Kyushu University follows the principles of the Basic Act for Persons with Disabilities (Act No. 84 of 1970), Act on Employment Promotion etc. of Persons with Disabilities (Act No. 123 of 1960, revised in 2013), and the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013).
- Kyushu University has implemented the System of Employment of Faculty Members with Accompanying Spouse since July 2017.
- If you have been subjected to disciplinary action in the past for sexual violence, including sexual harassment, against students, please be sure to state the nature of the disciplinary action and the specific reasons for it in your CV or other documents. If false statements are made, the applicant may be subject to cancellation of employment or disciplinary action.
- Personal information included in the submitted documents will not be used for purposes other than screening.